

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会

第92回日本生理学会大会 合同大会

参加者アンケート集計報告

2015年4月

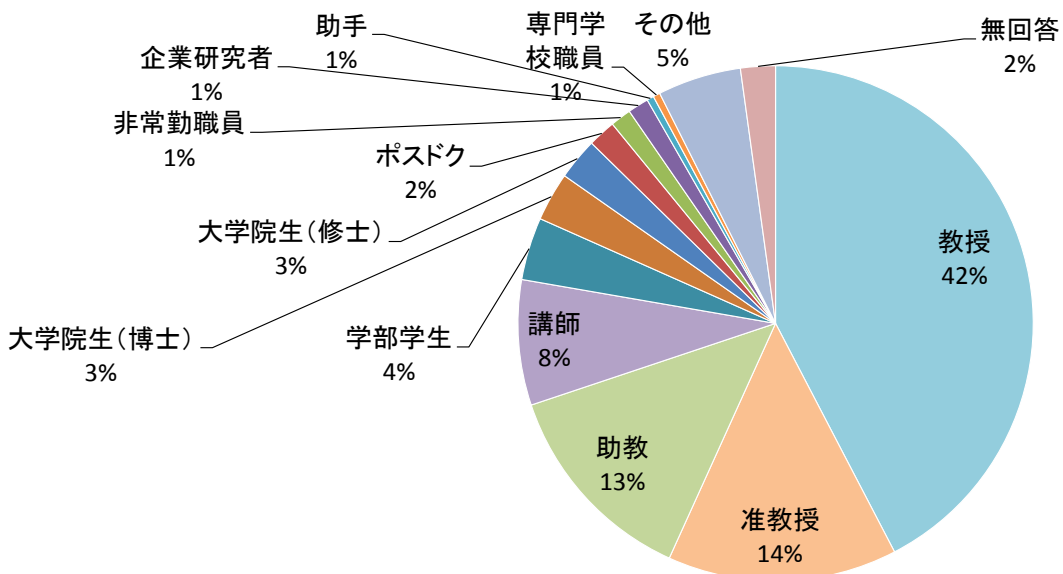
★アンケート集計枚数

回収枚数
229

★参加者について

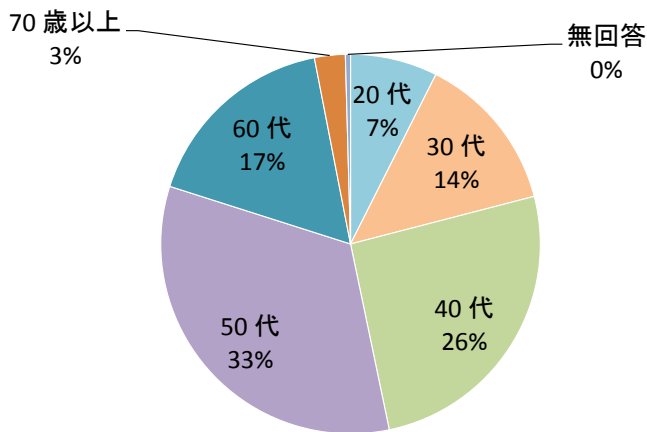
1) 身分

教授	97
准教授	33
助教	30
講師	18
学部学生	9
大学院生(博士)	7
大学院生(修士)	6
ポストク	4
非常勤職員	3
企業研究者	3
助手	1
専門学校職員	1
その他	12
無回答	5
合計	229



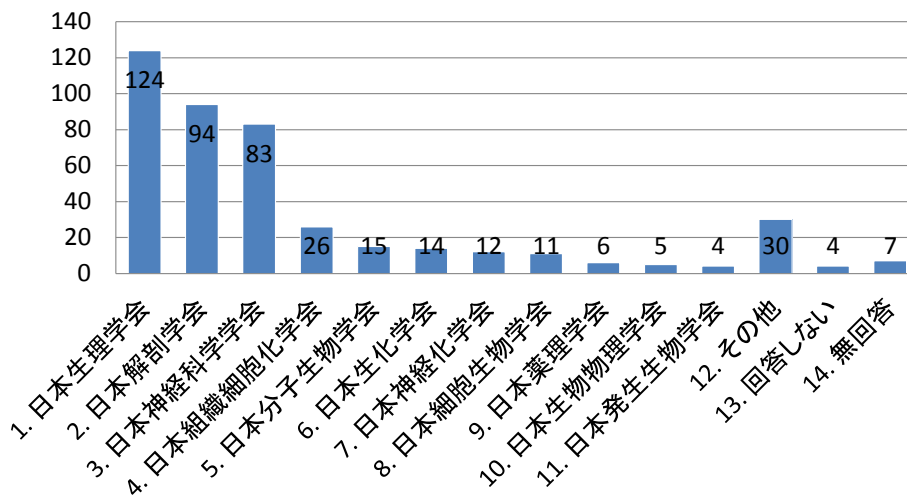
2) 年齢層

20代	17
30代	31
40代	59
50代	76
60代	39
70歳以上	6
無回答	1
合計	229



3) 所属学会(複数回答可)

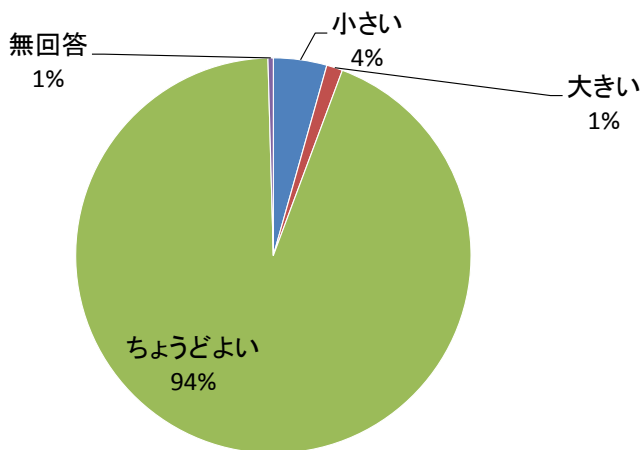
1. 日本生理学会	124
2. 日本解剖学会	94
3. 日本神経科学学会	83
4. 日本組織細胞化学会	26
5. 日本分子生物学会	15
6. 日本生化学会	14
7. 日本神経化学会	12
8. 日本細胞生物学会	11
9. 日本薬理学会	6
10. 日本生物物理学会	5
11. 日本発生生物学会	4
12. その他	30
13. 回答しない	4
14. 無回答	7
合計	435



★プログラム集冊子について

4) 大きさ(A5)について

小さい	10
大きい	3
ちょうどよい	215
無回答	1
合計	229

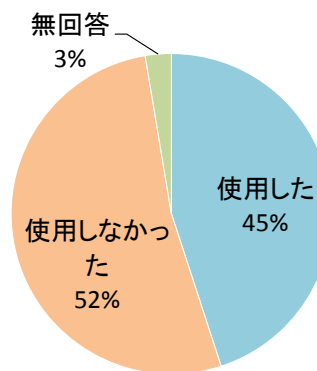


掲載されている情報について必要あるいは不要と思うのがあればお答えください

No.	具体的な希望・ご意見等
1	良い
2	目次があればもっとよかった(author name)
3	名簿検索ができればよいが、厚さの問題があるのかなと思いました
4	名前索引
5	名前の索引
6	名前のリスト
7	筆頭発表者しか名前が載っていないのは、不便だと思います
8	筆頭著者名しか掲載されていない点と、著者索引がない点は不便であったが、軽量化のためにはやむを得ないのかもしれない
9	筆頭者の索引
10	筆頭演者氏名索引
11	発表名を入れて欲しい。索引
12	発表者氏名索引要
13	発表者リスト
14	発表者の全員の名前が必要との意見もあった。索引があった方がわかりやすい
15	発表者のリストがあるとよい
16	発表者のインデックス
17	適切
18	著者名は、発表者だけでなく全員載せてほしい。
19	著者全員の氏名はあったほうが分かり易いと思いました
20	著者全員
21	著者索引があると、自分の関係する演題をもれなく把握できて良かったと思う
22	著者の索引
23	人名索引は絶対必要
24	人名索引がぜひ必要。要旨集だけではなくプログラムにも！
25	人名の索引は必要。初めてお目にかかって、後からその人のポスターに行く時に調べるのが大変でした
26	人名の索引がほしい
27	人名の索引
28	人名からの検索が必要
29	抄録集と同時発送して欲しかった。
30	小さい方の抄録にも検索があればよかった
31	出来れば後ろに名前の索引を付けて欲しい
32	氏名の目次が必要です
33	氏名の索引がない
34	使用しなかった。アプリのみ
35	索引はあった方が良い。author index
36	索引が欲しい。(他2件)
37	索引が必要(他1件)
38	索引がほしい
39	索引があると良いとおもいました
40	索引、特に人名がないのは大変不便でした
41	合同教育プログラムの抄録がどこにも掲載されなかったのは残念です
42	共同発表者名(または責任発表者名)氏名検索用の一覧
43	共同演者は必要。必須
44	共著者名はあった方が良くと思う
45	共著者の名前は全て掲載する
46	共著者、索引もしくはキーワードインデックス
47	巻末に、第一著者一覧インデックスがあるとよかった
48	学会員の氏名と演題を対応させたインデックスを、例年通り巻末に載せてほしいです
49	過不足ないと思います
50	演者名での索引があると便利、字をやや小さくして情報を増やしても良いと思われた
51	演者索引をつけてほしい
52	演者索引が必要
53	よくできています
54	もっとつめて、コンパクトにしても良い。
55	メモを書くスペースがほしい
56	ポスターセッションの共著者名必要
57	ネームインデックスが必要
58	なし
59	セカンドオーサーと人名索引があればありがたい
60	かばんに入れて持ち運びやすく、とても良いと思う
61	インデックスは必要。どこのラボの発表かわからないので、全員の名前を載せて欲しい
62	iPadによるソフトを利用しているので、プログラム集冊子は利用していません。従って、意見はありません。
63	co authors

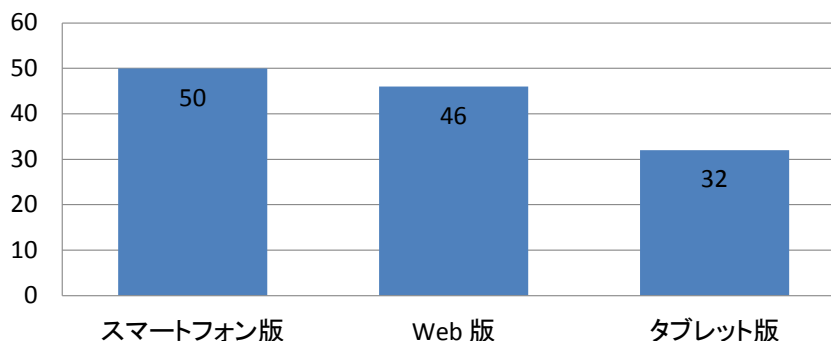
5)スマートフォン、タブレットおよび Web にて閲覧の抄録検索アプリケーションは使用されましたでしょうか？

使用した	103
使用しなかった	120
無回答	6
合計	229



使用したと回答された方へ いずれを使用されましたか？(複数回答可)

スマートフォン版	50
Web 版	46
タブレット版	32
合計	128



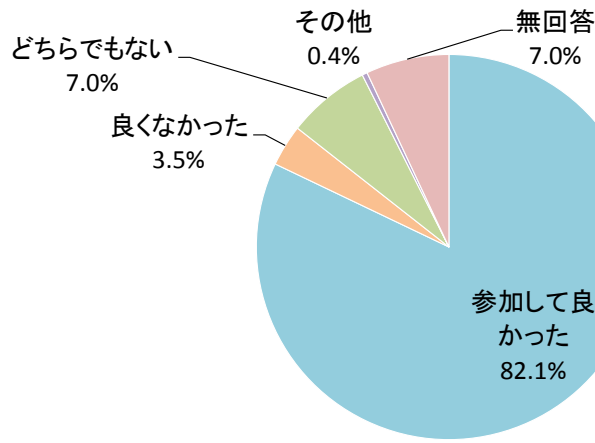
5)抄録検索アプリケーションについてご意見をお聞かせください

No.	具体的な希望・ご意見等
1	良いと思います。ただ座長の表示があると良かったと思います
2	良い。使いやすい。
3	良い(他2件)
4	予めダウンロードし、ネットにつながなくとも検索できた方が良かった
5	問題無いと思います
6	戻るボタンがあまりうまく機能されていなかったように感じた
7	便利です。
8	便利だった。
9	便利。使える／gmailのメールボックスを「ぬすみみて」、宿泊情報をカレンダーに登録されたときはびっくりしました。しかもオフに出来ない。やめて欲しい。
10	便利
11	文字が読みやすく、有効でした。今後も用意してもらえると便利です。
12	非常に便利。マイスケジュールに演目も反映できるともっと便利
13	非常に使いやすかった
14	日本語版でも、著者名は英語と日本語両方の表示であるとよかった
15	日程とその他詳細がリンクしにくい
16	特に役に立たなかった。学会規模が小さいからだろう。
17	大変良くできている。
18	大変よくできている
19	抄録をみるのに苦労した。
20	抄録には検索が必要になるので、このようなアプリは便利でした。特に項目の検索は予めしておいたほうが良いので、その日のスケジュールを決められるように工夫されているとよいと思います
21	初日にネットが繋がらなかった。ポスター2は繋がった
22	自分には使いませんが、使っている方を見ると大変使いやすいそうでした。良い試みだと思います。
23	使わなかった。知らなかったので
24	使いやすいくて良い
25	使いやすいくてよい
26	使いやすかった
27	冊子版を現地に持ち込まずに調べられるのは良いと思います
28	検索結果から予定表を作成できるとありがたい
29	検索のたびに初期画面に戻るのが不便。会場名に号室を入れてもらった方がよかったかもしれません。演題ごとのスケジュールも表示できるとよかった。
30	概ね使いやすいかったが、マイスケジュールで表示される情報を多くしてもらいたかった。また演題毎にマイスケジュールに登録してもリンクされてなかった
31	快適に使用できました
32	英語の演題名が表示されない点が不便
33	もっとシンプルにしてもいいかも知れない
34	メモ記入欄があれば良かったのですが。
35	マイスケジュールから演題の抄録を見られない。バグ？
36	パスワードを入力しなくても、ある種の操作で抄録を見ることができたのは問題だったのでは、と思います。
37	パスワードを入れないようにしてほしい
38	パスワードがわからなかった。もっと早く使えるようにして欲しかったです
39	とても良かった
40	とても便利です
41	とても便利だった。次もぜひお願いします。
42	とても使いやすく、遠方から来ましたので、プログラムを持つ必要もなく、大変便利でした。
43	どこでもつながるようにしてほしい。
44	ダウンロードがやや面倒。Wifiが繋がりにくかった。
45	スマートフォンを持っていないので、使用できなかった。
46	すごく良い
47	ありがたい
48	あまり使いやすいとは思わなかった
49	WEB版は異なるPCでの情報を共有できなかった。IPADminiで同期に何度も不具合が出て、結局利用しなかった。MY SCHEDULEの表は使いにくかった。SFNのように選んだ演題だけの抄録印刷ができるとよかった。グーグルカレンダーと同期させたところ、既存データが消え困った
50	Time table の拡大・縮小に問題あり
51	good

★今回の合同大会について

6) 全体的な感想

参加して良かった	188
良くなかった	8
どちらでもない	16
その他	1
無回答	16
合計	229



「参加してよかった」の理由

No.	具体的な希望・ご意見等
1	豊富な内容であった。合同大会の意義が十分生かされていた
2	勉強になりました
3	別の視点(私は解剖学が専門なので生理学的視点)からの話が聞けて、新鮮だった。
4	普段触れないような発表を聞いた。
5	普段会えない人と会えた
6	普段の学会より参加人数が多く、活気があった。
7	普段と違うお話も聞いた
8	発表に加え、情報収集もできた
9	賑やかであり会うことの無かった人と会えてよかった
10	内容が良く、運営に工夫がされていた。公開講座「人間と芸術」が面白い企画だった
11	大会企画学術教育講演が面白かった
12	他分野を知れた。
13	生理学系の研究者の話が聞いた
14	生理学会の先生方と、久しぶりに会うことができて嬉しく思った。
15	生理学会と合同なので、視野が広がった
16	生理と解剖が補いあっていてとても良かった
17	神戸という場所の設定が良い。
18	色々な発表を聞くことができた
19	若手研究者や学生の発表の場として全国集会は不可欠です。
20	自分の研究に近い発表をいつもよりたくさん聞けたから
21	自身の専門領域の他にも、特別講演やシンポジウムやポスター発表から学ぶことが多かった
22	参加者も多く、活発で良かったと思う
23	参加者が多く、にぎやかだから
24	参加者が多く、ディスカッションの質が上がった
25	合同大会ならではのディスカッションができた
26	合同は楽しいです。
27	講演、シンポジウムの内容が充実している
28	個人的には例年以上に極めて充実した大会でした
29	共通点、補完する点が多い
30	久しぶりに専門の神経科学以外の研究領域からも知識を得られた
31	貴重な講演が聞いた。
32	基礎分野について知ることができた
33	活発でよい大会になった
34	学術の内容がある。
35	学会連合の存在意義が理解できた。
36	学ぶことが多い
37	解剖学会単独の時よりは、活発だったと思う
38	解剖学会の同分野の研究者と討論できた
39	解剖学会との合同で、情報量・質とも増加
40	解剖の分野だけではない分野についても知ることが出来たため
41	解剖の人たちと同じものを見て、即座にディスカッションできたこと
42	解剖と生理は密接に連携していることが改めて感じられた。内容が豊富だった
43	解剖と生理は不可分
44	解剖・生理・薬理と、多くの分野の先生が来られ、知識が広がった。
45	異文化交流ができた。活気があった
46	異なる学会の傾向を知ることができた
47	異なった見解が参考になる。
48	リフレッシュ
49	ポスターのテーマが多彩で、刺激された。
50	プログラムが大変良くオーガナイズされていた
51	テーマが充実
52	たくさん集まることは、やはり大切。
53	シンポジウムの充実、商業展示の充実
54	シンポジウムのオーガナイザーは初めての仕事だったが、成功裡に終えることができた
55	MD育成プロ リトリートに参加、運営含め、メインホールでの口頭発表が良かった。

「良くなかった」の理由

No.	具体的な希望・ご意見等
1	祝日と日曜日をつぶすのは良くない
2	合同？解剖の先生方(知り合い)になぜ出会わないかが不思議だった。(生理学会と同様の付き合いレベルの知人)
3	シンポジウム間の移動時間が少ない。下手な英語はやめて日本語で行うべき
4	解剖ではなく、薬理と合同でやってほしい
5	ポスター発表まで生理にあわせて英語にする必要がない

「どちらでもない」の理由

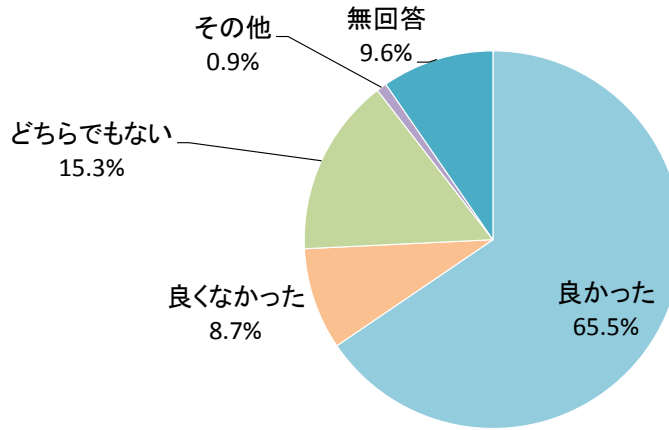
No.	具体的な希望・ご意見等
1	色々な範囲に触れられる反面、触れにくいシンポジウムがあった。(時間的に)
2	生理学会の参加者と交流がなかった。
3	前回の生理学会と、それほど大きな違いはなかった
4	色々な分野の話をきけてよいが、不慣れな分わかりにくい
5	二日目の昼に発表がなかった
6	大きな意義は感じられない

「その他」の理由

No.	具体的な希望・ご意見等
1	仕方がないといえば仕方がないが、ポスター会場と離れているのは疲れる

7) 今回の合同大会について通常の大会(単独開催)に比べて如何だったでしょうか？

良かった	150
良くなかった	20
どちらでもない	35
その他	2
無回答	22
合計	229



「良かった」の理由

No.	具体的な希望・ご意見等
1	様々な面(形態および生理機能)からの話がきけたので
2	面白かった。
3	勉強になった。
4	別分野の話が聞ける
5	幅広い知識を得られた
6	幅広い情報交換ができた
7	幅が広がった。研究内容、企画などで。
8	普段触れない領域の発表を見ることができた
9	日頃、生理学会に参加していないので、新鮮であった。
10	賑やかになった。大会全体懇親会のために、グループディナーの参加者が減った
11	内容
12	同上
13	討論が活発であった。若手の参加が多かった。
14	男女共同参画推進シンポジウム
15	単独開催よりも、明らかに活気がある。また神経科学においては特に生理と解剖を分断する意味が無意味になりつつあるので、今後も恒久的に合同開催すべき
16	多分野の先生と会えた
17	多くの参加者があった。合同懇親会が盛り上がった
18	他分野の先生方と交流できたから
19	全体としては良かった
20	盛況であった
21	生理学領域の研究を知ることができ、今後の自分の研究の参考になった
22	生理と解剖は密接にリンクしており、より多くの情報を収集できた
23	上記と同じ。多くの研究者と交流が出来た
24	自分の研究に近い発表をいつもよりたくさん聞けたから
25	視野の広がり
26	視点が広がり、ディスカッションも色々な視点でできるように思われる。ずっと共催でもいいのではと思うぐらい良かった
27	参加人数が多く、活発な意見交換ができた
28	参加者が多く、演題内容も様々で新鮮だった。
29	参加者が多く、にぎやかだから
30	合同大会の意義が十分生かされていた。科学には多彩な考え方が必要
31	合同シンポジウムを開催出来た。刺激になった。一方、大規模で会場とホテルの収容力が小さかった
32	広範なテーマのシンポジウムがあった
33	個人的には解剖学会に所属する知己に、20数年ぶりに会えたのが良かったです
34	活動を活性化させる工夫が多かったため。
35	活気が出ていて、今後は基礎系の学会の合同開催がのぞまれる。
36	学会は、規模が大きい方がいいと思います。
37	解剖学会はいつも演題の質・量の不足が明らか
38	解剖学会での研究成果も知ることができたから
39	解剖学や微細形態学の情報には生理学研究に必須であり、今回の合同大会の内容は充実していた
40	解剖学と生理学は、構造と機能の意味で表裏一体であることを実感できました
41	解剖学からの意見が聞けた
42	解剖と生理の交流
43	会場内で違う学会の方ともお話できたこと
44	会場が広い。
45	演題の幅もひろがり、参加者も多く多様なため
46	ポスターセッションで、いつもとは異なる視点の意見を頂けた
47	プログラムの内容がより充実し、会場に活気があった
48	プログラムが多く、興味のあるものを見つけやすかった
49	シンポジウム等で形態と機能の側面から補えるテーマが多いと思われた
50	グループディナーに、解剖学の人達も参入してくれたので盛り上がった
51	おもしろい
52	いつもは会えない知人にも会えた
53	学術の内容がある。
54	普段触れないような発表を聞けた。但し、毎年はなくても良いと思う。

「良くなかった」の理由

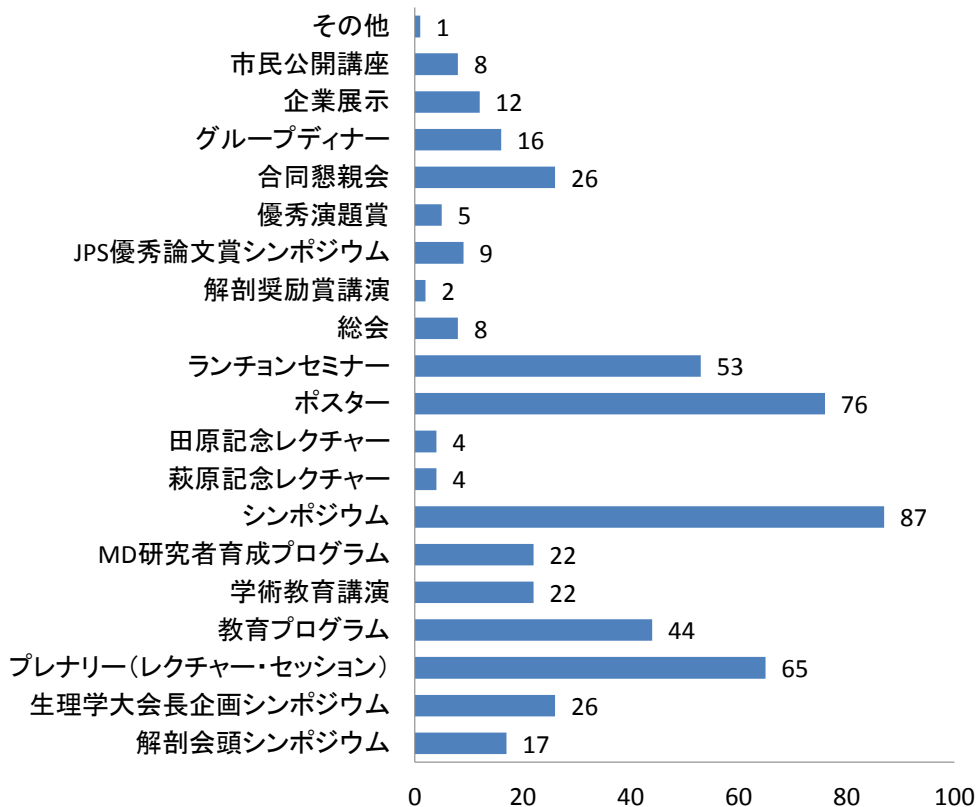
No.	具体的な希望・ご意見等
1	混雑していた。口演とポスターの会場が離れすぎ
2	混雑する。専門外の発表が増える
3	口述発表が少ない
4	解剖学会と一緒にしたこと、内容が拡散して集中できなかった
5	生理だけ単独で余裕のあるスケジュールの方がよい。シンポジウムが重なる。ポスターも少ないほうが回りやすい
6	解剖学会と合同で開催する意味がわからない
7	ポスター発表まで生理にあわせて英語にする必要がない
8	発表会場のレイアウトが悪い。ポスター会場が遠い。口演会場が狭すぎる
9	シンポジウムが多すぎて、聞けないものが多い
10	雑多、わかりにくい
11	混雑
12	広範だが、少し希薄になってしまった。
13	3日は長い
14	シンポジウムが、神経のセッションばかりで、不満
15	祝日と日曜日をつぶすのは良くない
16	演題数が多すぎる。

「どちらでもない」「その他」の理由

No.	具体的な希望・ご意見等
1	初めてなので、比べられない
2	今大会が初めての参加のため
3	フロアーに日本人しかいない場での英語プレゼンやディスカッションはお互いすれ違っていると感じた。ランチョンセミナーは、弁当はいらないので話がききたいものがあった
4	前回の生理学会と、それほど大きな違いはなかった
5	初めて生理学会にも参加したから
6	神経科学学会と重複している
7	メリット、デメリットそれぞれあります
8	初参加のため
9	学会自体が初めてで比較対象がない

8) 大会に参加して有意義と思った企画は何でしょうか？(複数可)

解剖会頭シンポジウム	17
生理学大会長企画シンポジウム	26
プレナリー(レクチャー・セッション)	65
教育プログラム	44
学術教育講演	22
MD研究者育成プログラム	22
シンポジウム	87
萩原記念レクチャー	4
田原記念レクチャー	4
ポスター	76
ランチョンセミナー	53
総会	8
解剖奨励賞講演	2
JPS優秀論文賞シンポジウム	9
優秀演題賞	5
合同懇親会	26
グループディナー	16
企業展示	12
市民公開講座	8
その他	1
総計	507



その他

No.	具体的な希望・ご意見等
1	合同教育プログラム(生理学エドゥケーター)
2	WPJグループディナー
3	会話

その中で特によかった企画は何でしょうか？

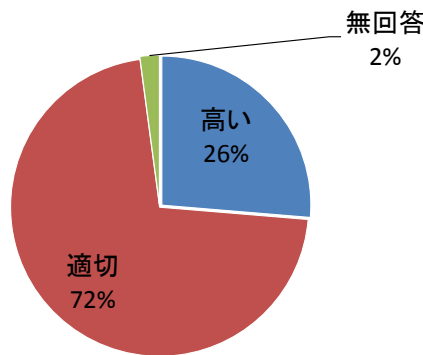
No.	具体的な希望・ご意見等	理由
1	シンポジウム16	亜鉛の研究はこれからの注目分野と思う。
2	90分シンポジウム	コンパクト、無駄が無くなった。
3	教育講演	わかりやすかった。
4	グループディナー	
5	教育プログラム	生理学の教育体制は、普段知る機会が少ない。
6	ポスター	1人1人にしっかり対応出来るため
7	ポスター	1対1で質問できる。
8	ポスター	類似のテーマの研究者との出会い
9	大会企画シンポ NO.、その後の展開	解剖・生理・薬理と集まり、機能と形態が結びつく
10	学会間の壁を越えて	合同学会の真骨頂
11	合同懇親会	
12	1日目に聴覚系シンポジウムがまとめられた点。	効率良く勉強できた。
13	ランチョン#1	ロアミノサンについて知らないことを知ることができた
14	シンポジウム S05適切な血液循環の維持のためのストラテジー	今後の研究の指針になる発表も多かった
15	シンポジウム	テーマが多様であった事
16	コメディカルの教育シンポジウム	全国で同様に苦労している様子がよくわかった
17	MD研究者育成プログラム	若手、学生の参加を促した企画は非常に良かった
18	学術教育講演	柳田先生の講演
19	教育プログラム	当初の想像以上に、今後講義をすすめる上で参考になりました
20	大会企画シンポジウム	機能と形態の連携という、本合同大会の狙いを代表する素晴らしいシンポジウムでした 男女共同参画は、生理学会では20年の歴史があり、ご一緒させていただき心強く感じました。プレナリーレクチャーでの先達のお話は、科学の域に留まらず、深く感じ入りました。
21	男女共同参画、教育プログラム、プレナリーレクチャー	
22	シンポジウム	採択数が多かったから
23	MD研究者育成プログラム、合同教育プログラム	医学生に基礎医学へ進む強いモチベーションを与えられたと思う。今後、自分が大学で講義する際に非常に有用であった。
24	S34	似たもの同士で集まると、より細かい所に議論が盛り上がり、当初の疑問から離れていくように感じる。合同開催なのだから、日頃繋がりが築けない事柄の結びつきを知りたい
25	プレナリー	
26	Zucher's talk	プレゼンテーションのわかりやすさ、Scienceのオリジナリティが抜群
27	CSO7が良かった	
28	プレナリーレクチャー	講演者だけではなく、座長の先生がどれも良かった
29	モデル講義	参考になることが多かった
30	MD研究者	予想以上に内容が素晴らしく、刺激になった
31	シンポジウム	興味のあるテーマだったから
32	MD研究者育成プログラム	若手の育成に大きな効果があると思うから
33	教育プログラム	モデル講義を初めて聞いたため
34	シンポジウム	内容数も多く、質も高かった。日本語の質問を許容していたのでわかりやすかった。
35	WPJグループディナー	講演が面白かった。企画がよい
36	MD研究者育成プログラム	若手の育成に必要だと思う
37	MD研究者育成プログラム	多分野
38	特別講演全般	
39	教育プログラム	
40	ポスター、シンポジウム	学術集会の基本であり、中心的活動であるため
41	ランチョンセミナー	普段聞けない臨床医学の話が聞けた
42	コメディカルのためのシンポジウム	コメディカル分野だから
43	教育プログラム	他の先生方の講義を拝聴する機会がほとんどない中で、集中して参加できるから
44	人口内耳	
45	教育プログラム	解剖学会ではあまりやられていないので
46	シンポジウム	自分たちの企画であったが、立ち見が出て議論もある程度活発であったので
47	教育プログラム	生理学会の方々の教育にかける熱意を感じたこと

あまり良くなかった企画は何でしょうか？

No.	具体的な希望・ご意見等	理由
1	会場が大きすぎたので、移動(会場→会場)に時間がかかった。 特にポスター・セッション。	
2	偏っている。かと言って多くすれば良いというものでもない。 少なく、且つ医学や歯学、国民に貢献できるよう。	
3	プログラムの昼の間に空いている	
4	Eの会場は狭すぎた	
5	グループディナー	合同懇親会に集約し、両学会の交流を図った方がよいと思う
6	コメディカルの教育シンポジウム	「コメディカル」という呼称は時代遅れかつ不快。「メディカルスタッフ」と呼ぶべき
7	公募シンポジウム	時間枠の決定については、コンペや抽選等公平性を高める工夫が必要だと思います
8	特定のテーマ、シンポではなく、フロアに日本人しかいないのに英語なのは 伝わらないし、伝わっていないように感じた	
9	時間を大幅に超過した演題は、内容が良かったとしてもよい企画ではなかつた	
10	合同懇親会	参加費込にして、無料にすべき
11	企画というより、シンポジウムの部屋が満員だったこと	
12	解剖関係	生理との共通点がわからない
13	プレナリーレクチャー	多すぎる、時間を取りすぎる。総会は、両学会同時進行でよい。 他学会の総会に出る意味はない。
14	ランチョンセミナー	部屋が小さい、事前の計画が必要で無理

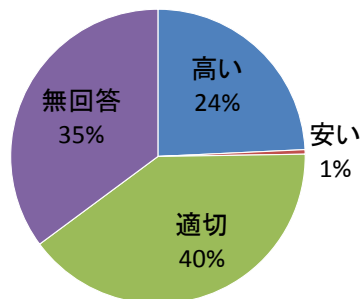
9)-1大会参加費の値段は如何でしょうか？

高い	50
適切	136
無回答	4
合計	190



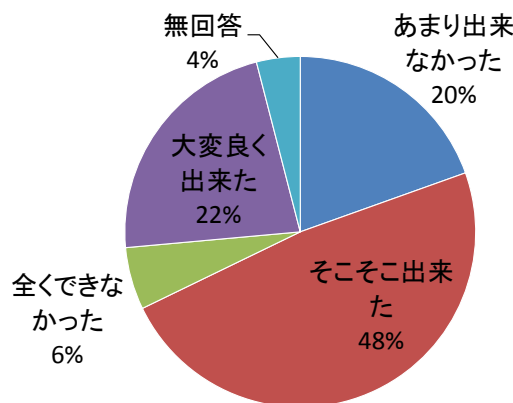
9)-2懇親会費の値段は如何でしょうか？

高い	49
安い	1
適切	81
無回答	71
合計	202



10) 今回の合同大会では、両学会員の交流が目的の1つです。交流はうまく出来たとお考えでしょうか？

あまり出来なかった	34
そこそこ出来た	84
全くできなかった	10
大変良く出来た	39
無回答	7
合計	56



更に交流を深めるためにはどうすればよいとお考えでしょうか？

No.	具体的な希望・ご意見等
1	こういう機会を隔年で行って欲しい。
2	定期的に交流イベントをやって欲しい。合同地方会なども良いかも
3	定期的合同大会の開催
4	常に合同大会にする
5	このような大会を増やす
6	合同大会の回数を増やす
7	合同大会を、もっと頻繁に行なう
8	今回に留まらず、合同大会を頻繁に開催すべきだと思います
9	ずっと共催
10	5年に1回くらい合同を考えると良い
11	合同学術集会や合同シンポジウムの機会を増やす
12	合同大会の頻度をあげること
13	合同開催を継続する
14	合同学会を継続する
15	できるだけ多くの大会で合同にする
16	定期的に合同大会を開催する
17	2~4年に一回は合同大会を開催したら良いと思う
18	2、3年に一度位の割合で、頻回に合同大会を開催する
19	今後も続けていく
20	共同研究の推進
21	1つのテーマに対して、解剖学と生理学の各々の分野から発表してもらい、議論する企画を考える。
22	会場のコンパクト化。
23	各学会別の企画は止め、合同プログラム委員会としてすべき
24	来年は(解剖学会員であるが)、生理学会にも参加したい。
25	関連性の深いテーマを選び、シンポジウムを充実する。
26	このままで良いと思う
27	知り合いが少ないと難しい
28	大会参加費を懇親会込で設定し、参加者全員が懇親会に出るようにする
29	シンポジウムの共同提案ではなく、ここの学会で提案して類似シンポジウムを集中させる、日本語発表
30	特定のテーマについて、演題を両学会から公募してシンポジウムを組み立てると、さらに両学会を有機的に繋ぎ交流を深めることができるのではないのでしょうか
31	サイエンスカフェのような、皆が集い憩える場所を設定するのはいかがでしょうか
32	まだ交流に出来ない部分があります。このような合同大会を定期的に行い、さまざまな交流プログラム等の発案を促すことが重要だと思います
33	日頃の交流
34	ジョイントシンポジウム
35	シンポは必ず解剖・生理半分半分で作る
36	特定テーマに関する討論会を行う
37	ポスターでなく一般口頭発表を行う。シンポジウムが多すぎる、シンポジウムは交流とならない。オーガナイザーのみである。
38	ネームプレートに、どちらの所属かわかるようにする

No.	具体的な希望・ご意見等
39	現在のように、合同学会を積み重ねる
40	誰がどちらの会員かわからない
41	ポスターセッションにおける演題の並べ方に工夫をすることができると思う。学生ポスターがどれなのかわかるようにしてほしい。
42	飲み会を増やす
43	現状の継続で様子を見るのでよいのでは。
44	合同討論を行う
45	例年の年大会でも、たとえば参加費割り算制度を設ける等、相互乗り入れができるようにしたら良い
46	座長を両学会からひとりずつ勤めるシンポジウムを企画する
47	ポスターセッションの時間を有効活用できるようにする。他学会についても興味がある分野について知る、コミュニケーションする時間をもっと必要だと思うから
48	分野を絞った合同学会の方が、より密に交流できるだろう
49	共同企画によるシンポ、etc
50	共同研究への橋渡しができないか
51	シンポジウム等で座長が、生理学的視点と解剖学的視点との相違点をあきらかにするように、シンポジスト／パネリスト同士の議論を積極的に促してはどうでしょう
52	必要なし
53	必要か

11)-1 今回の合同大会で通常の大会に比べてよかった点はなんですか？

No.	具体的な希望・ご意見等
1	別の視点(私は解剖学が専門なので生理学的視点)からの話が聞けて、新鮮だった。
2	普段顔を合わせない解剖学会一全員と一緒にテーマについて議論ができた。
3	解剖学会と合同、人的交流、情報量の点で有効だった
4	普段聞けないような内容の話が聞けて、考えが広がった。
5	発表の内容
6	会場のスペース等は充分であった。
7	見識が広がった
8	視野が広がる
9	色々な分野の先生と会える
10	実験の手法や解釈についての知識(工夫)や、Discussionが深まった。
11	規模が大きくなって良かった。
12	学術交流ができた
13	コンパクトな会場で移動が楽だった
14	いつもより同じような研究をしている人と話すことができた
15	生理学領域の研究を知ることが出来、今後の自分の研究の参考になった
16	参加者が多く、情報収集という点でも意義があった
17	テーマがバランスよく決められていた。解剖の技術など異分野の情報に触れることができた
18	多彩な討論ができた
19	通常大会に頻りに参加しない会員にとっても、参加しやすかったのではないのでしょうか
20	解剖学会の先生方とより深い交流がもてた
21	解剖学の人達と同じものを見て、同じ時間を過ごして一所にディスカッションができた点
22	解剖学や微細形態学の情報は生理学研究に必須であり、今回の合同大会の内容は充実していた
23	世界的に形態機能を合わせた研究が増え、教育分野でも解剖生理というくくりが普通となってきており、そのような体勢にあわせた内容が多く、とても良い
24	包括的な理解が深まった。合同開催により興味ある演題数が格段に増加しました
25	シンポジウムの採択数が多かったところ
26	学会により多様性もたらされ、いつもより活気があった。プログラムが充実していた
27	普段と違うアプローチの話がきけた
28	解剖の先生方にお会い出来たこと(お世話になった先生方)
29	演題のレベルが高い
30	プログラムがコンパクトでよい。女性のシンポジスト、座長がいて良かった
31	会場の規模
32	普段と違う話が聞けてよかった。観点の相違
33	細かい点まで良く配慮され、コンパクトなプログラムが使いやすかった。また市民公開講座の企画も良かった
34	内容が豊富で充実
35	シンポジウムが面白かった
36	多分野と知り合える
37	異分野の先生と知り合いになれた
38	ポスターが多い
39	互いに活性化できる
40	生理学の事も聞けて良かった
41	形態と機能の両面からみることができた点
42	活気があった
43	新しい交流があった
44	天候に恵まれた。合同懇親会があった
45	解剖学会での研究成果を知ることができたこと
46	生理学会でしか扱われていない研究分野があった
47	生理学会の発表をみれた
48	学生の参加が増加
49	会場の立地
50	シンポジウムの質・量ともに充実
51	参加者が多かった。多くの会場で議論が適切であった
52	参加人数が合同大会のため多かった
53	合同開催により、興味深い演題に出会える確率が高まった
54	合同大会
55	合同懇親会
56	特に良いと思う点や、悪い点はありません
57	カエルとり名人の表彰
58	なし(他1件)

11)-2今回の合同大会で通常の大会に比べて悪かった点は何でしょうか？ どうすれば改善できるでしょうか？

No.	具体的な希望・ご意見等	改善方法
1	プレナリーレクチャーの時間。他の企画が無い。	この間に、シンポジウムを入れる。
2	プレナリーレクチャー時に他のセッションがないため、時間が空いてしまった。	プレナリーレクチャー時にもいくつかのセッションを入れても良いと思う
3	プログラムのtime table構成	重複可能なテーマは、同時進行する
4	日程、時間割がつまっていてきつい	シンポジウム、演題の数を減らす
5	プログラムが重なり、興味ある講演演題も参加出来ないものも少なくなかった	時間的な制約があるので解決は難しいと思います。ポスターディスカッションを早朝にもってくるとか、総会やレクチャーの時間にもシンポジウムなどのプログラムを組むか等でしょう
6	演題が多すぎてすべてをフォローする時間がとれなかった。自分のポスター発表の時間に自分の興味ある研究も発表だったので、見に行くことができなかった。	ポスターの示説の時間を奇数・偶数でわけてほしい。
7	午後のセッションがタイトだった	演題数の減少もしくは日程の組み方を変更する
8	スケジュールがタイトであった。シンポジウムが多くポスターを見に行く時間がとりにくかった。シンポジウムの間に休みがなく、移動がしにくかった。	
9	例年でも多いのに、シンポジウムが多すぎて重複し、選択に困った	減らす、セッション(共通専門分野の顔を知り、)討論できるのが大切。特に若手地方会のみではダメで、合同で。
10	シンポジウムが多くなり、シンポジウムとシンポジウムの間に時間的余裕がなかった点	解剖と生理の総会や、学術賞の表彰などは両学会で並行して行う、全体の終了時間をシンポジウム同士の交代時間を含めて、もう少し遅くする
11	シンポジウムによっては、無理やり解剖学会員と生理学会員を寄せ集めただけで、シンポジウムとしてのテーマの繋がりに乏しいものや、シンポジウム講演とするには内容が薄く演者も不慣れで、一般口演と変わらないレベルのものもあった	公募シンポジウムをもう少し厳選した方が良いのではないのでしょうか
12	シンポジウム、ポスターが多すぎて、とても三日では無理です	分野を絞る、たとえば「神経のみ」とか
13	シンポジウムが多い	減らす
14	シンポジウムが多すぎた	選考すべき
15	ポスターで日本文のものがあった	念を押す
16	ポスター。生理の人は生理の日、解剖の人は解剖の日にしに来ない。	内容を見直し、key wordでシャッフルするとか
17	ポスターの内容が、もう少しばらけても良かったと思います。自分の興味あるポスターが自分と同じ発表時間なので聞くことができなかった	
18	周りが解剖の多いところに、生理のポスターがあると客の寄付が悪いように感じられた。	プログラム委員の判断によるが、困難な作業となるのはある程度仕方がないであろう
19	同じような研究をしている人が生理学会には少なく、解剖学会に多いことを認識したこと	わからない
20	土日の両方がつぶれてしまう	
21	一般のオーラル演題がなかったこと	
22	食事ができるところが少ない	
23	ランチョンセミナーが整理券制なのに毎日行列ができていた	誘導をスムーズに行う
24	発表前の初歩的説明が必要	
25	内容がDiverseしてしまった	シンポでは生理・解剖平行してテーマを決めた方が良い
26	生理のブースと解剖のブースを分けてほしい	
27	参加者数が多すぎる	
28	一般演題でも良い発表があるので、もう少し取り上げても良い。	今回は合同大会なので仕方がないと思うが、次回を期待しています
29	プログラム集の構成及び、公募シンポジウムの割当方法は工夫が必要と感じます	プログラム集内の発表者は、全員表示したほうが良いと思います。(シンポについては別紙で)
30	社員総会のあり方(別々に、total2時間)に一考を。	
31	大きくなりすぎると、コンタクトや連絡が取りにくい。	
32	会場	
33	ポスター会場とシンポジウム会場が離れすぎ	会場の都合もあるので難しい
34	ポスター会場が遠かった	
35	スペースが不足。多くの会場で入りきれない状態だった	シンポジウムが多すぎ。Society for Neuroscienceのように一度発表したら翌年はポスターのみなどの制限が必要。そうしないと毎年似たようになる
36	盛況すぎて入りきれない人がいた	
37	参加者を収容しきれなかった、会場設定	
38	入れない会場があった	シンポジウムの数を減らして、大きい部屋を確保する
39	会場が狭くて目的のシンポに入場できなかった	
40	部屋が狭すぎるシンポジウムが散見された(立ち見の先生が見られた)	
41	会場がわかりづらかった	
42	解剖学の発表が少ない	発表のまとめ方をもう一つ考え、ミックスすべき
43	解剖学の事をもう少し聞きたかった。	肉眼解剖学の演題が少ないように感じた。何か原因があるのでは
44	英語のプレゼンテーションが必須である点	必要ないとまでは申しませんが、オプションが良いと思います
45	英語	
46	英語での講演は理解しにくかった	
47	必要のない英語、必要のない発表	合同大会の解消
48	全て英語	合同を本当にしなくてはいけないのか再考すべき
49	旧交を温める時間が不足	仕方がないと思います
50	特になし(他1件)	

12) 今回の合同大会では使用言語を原則英語で行いましたが、今後どうあるべきとお考えでしょうか？あなたのご意見をお聞かせください。

No.	具体的な希望・ご意見等
1	good!
2	このままで良い。(他5件)
3	問題ない
4	原則英語(他3件)
5	英語で(他1件)
6	英語でよい。(他2件)
7	英語でOK
8	良いと思います(他2件)
9	両学会が国際化するには英語でする
10	招待講演者のみならず、外国人留学生にとっても参加しやすいので、明らかに英語が良いです
11	現行どおりで問題ない。ディスカッションも英語で活発に行っているシンポジウムが多かった
12	英語化は続けるべき(他4件)
13	ディスカッションを英語で行うと咬み合わない場合が多いと思うが、教育講演以外は英語でよいと考える
14	ポスターは英語でよい。マジョリティが日本人なので日本語でよいと思う。スライドは英語ですれば
15	抄録集やポスター・スライドを原則英語で作成することは時代の趨勢として当然でしょう。一方で、小型のプログラム集は演題等を日本語表記にして利便性も確保されていました。このような細かい配慮があれば、使用言語が次第に英語になってゆくことに賛成します
16	徐々に英語へ移行
17	合同大会だけ英語にしても良い。たまには面白かった。
18	問題なし。しかし日本語も大事
19	併記をすすめる。
20	口頭発表の英語の発音レベルがあまりにも低く、何を言っているか、理解できなかった。ポスターやスライドは英語にして、発表や質問は日本語がよい。
21	日本語で可。英語プレゼンテーションを希望する場合は、別枠で行うほうが良い。
22	質疑応答は日本語でもよい(他1件)
23	基本は日本語にすべき。
24	英語でのシンポジウムは、理解できないことが多く、難しかったです。
25	日本語を中心に。(他1件)
26	時間が少ない場合の質疑応答は、日本語も許可する。
27	現在のプレゼンは英語、Discussionは日本語というのが良いと思う。
28	今後発表は英語、ディスカスは日本語が良い
29	異分野の内容を初めて聞く時に、英語はちょっとわかりにくいことがある
30	日本語の方がベター
31	国内学会なので、日本語で行うほうが良い。
32	かえって分かりにくい場合もあった。
33	日本語に戻す。
34	演者一任
35	日本語ネイティブが深いディスカッションをするためには、日本語の方がいい。最先端領域のみ英語にするべき。
36	外国人演者のいるセッション以外は日本語で
37	英語のためか、discussionが低調に感じた。
38	英語でプレゼンの必要はあるが、教育を目的とする場合は、日本語があっても良い
39	日本語のほうが良い
40	日本語が良い(他1件)
41	私は日本語の多い方がよい。
42	日本語使用のシンポジウムがもっとあるべきです。
43	日本語のセッションがもっと多くてもよいと思う
44	日本語でもいいと思う。理由:英語で上手に説明・討論できない演者もいたため
45	日本語でいいと思います(他2件)
46	若い人が思う存分発表できる環境も良いのでは(日本語でも)
47	英語が母国語の方がいなければ、日本語で良いのでは?
48	専門外のことは英語では理解できない
49	原則英語には疑問あり
50	多分野理解を促すためにも、日本語で発表や質疑応答は日本語が良い
51	「日本」生理学会がIUPS、FAOPSの下部組織でないのなら日本語でよい。「国際」学会は当然英語
52	プレゼンは英語でもよいが、質疑応答に英語を義務づけると非常に貧弱になるので、基本的には日本語で、英語もOKというようにしたほうが良い
53	発表は英語、ディスカッションは必要に応じて日本語も可
54	日本語とすべき
55	若手の為の練習の場であるなら英語で構わないと思いますが、討論を通じて各々の研究の質のレベルアップを目的にするならば、日本語で奥深く議論するべきだと
56	シンポジウム会場で、明らかに日本人だけしかいない場合、日本語にする。(あるいは英語でもよい)としたほうが議論が深まる
57	無理に英語にする必要もないと思います
58	英語が喋れる人しか議論に参加できず、日本語の方が良いと思われた
59	参加者が日本人ばかりなので、日本語でも良いのではと思いました
60	今回、日本語でやりたいというシンポジウムの演者がいらしたり、会場に日本人ばかりであるのならば、またはシンポジウムの演者が全て日本人であるのであれば、母国語の日本語で講演し討議すべきだと思います。みんながわかる言葉で質の高いシンポジウムを聞きたいと思っています
61	日本語も英語も可能な仕組みづくりが必要と考えます。日本語のほうが短時間で深い討論が可能な現状ほすくには変えられないでしょう。グローバル化を目指すという方向では、当然英語でするので移行措置として早朝や夜に英語のプレゼンや論文の書き方、研究費の取得など教育プログラムを組み、全体がレベルアップできる仕組みがあると良いかもしれません。一方でコメディカルの参加を目指す場合は、日本語でないと参加頂けないでしょう。学会が何を指すのかの議論が大切であると思います
62	英語でやることは、現在の状況から致し方ないこと(他1件)
63	原則にする必要はないと思います
64	基本的には英語で行う、しかし発表者の事情、研究内容により日本語もあり得ると思います。さらに討論は日本語をもっと勧めたらよいと思います。議論の密度が高まります。
65	ゲストスピーカーが英語圏の場合はありと思います。日本人しかいない時は日本語の方が良いのでは
66	日本語のセッションも必要
67	原則英語が良い。シンポジウムなどで英語のプレゼンが下手な人は選ばないでほしい。若手はどんどん英語でのプレゼンが上手くなっているので、若手の人をもっと呼んだり活用する
68	もっと定着させるべき
69	会員、特に発表者の英語力の向上を図るべき。聞くに耐えない発表が無視できない
70	基盤的な解剖・生理学会が、日本の学術用語を捨ててしまえば発展はない
71	英語では同じような人ばかりが質問し、若い人が質問しにくい。日本語もするべき
72	シンポジウムでも英語のプレゼンのレベルの低さに失念した
73	日本語も可にしては
74	特別のもの以外、日本語で十分。日本の学会である。若年は国際学会に積極的に出席させれば良いから
75	どちらでも良い
76	英語での発表力をつけるためには必要
77	専門知識のない学部学生には、英語のポスターはとっつきにくいので、日本語のポスターもあると少しは親しめると思います。
78	発表者が日本人のみで小さな会場のシンポジウムは、日本語でやってもよいと思った。外国人の参加者はあまりいなかった。
79	情報交換の場と考えるのであれば、日本語で良いのではないかと
80	十分なトレーニングが必要。聞き取りにくい人が多い

12) 今回の合同大会では使用言語を原則英語で行いましたが、今後どうあるべきとお考えでしょうか？あなたのご意見をお聞かせください。

No.	具体的な希望・ご意見等
81	日本語の方もあったので良かった
82	日英どちらかを選択できれば良い。(他1件)
83	英語である必要はない。実質的な質疑応答は日本語で行われていた。
84	質疑は日英両方が良いと思う
85	日本語でやったほうが良い。英語だと質問がでない。
86	集中力の維持が必要。 No problem
87	こだわる必要はありませんが、ある程度裁量にまかせる形でよいと思います。
88	学生のために同時通訳がほしい
89	今回のように、セッション毎に選んでもよいのでは。英語は若い人にとってハードルは高くないが。
90	まったく必要ない。生理学会がやるのは自由だが、なんで解剖学会がそれに合わせるのか、理解に苦しむ
91	演者の多くは英語をもっと練習する必要ありと感じた
92	下手な英語でしたら日本語の方が良いです。そのかわりスライドは英語にすれば良いです。
93	日本人が多い場合、日本人のみのシンポジウムの場合は日本語で良いと思う。
94	大多数が日本人なので、原則日本語で良いのでは。演者が外国人なら英語にすればよい。
95	英語をやめるべき。日本語が良い。日本人同士の英会話はよくない。
96	英語でなくてもよい
97	他部門、特に解剖学のセッションの細かいところが理解できない
98	よくない
99	発表分野によって使用言語を使い分けていたが、この方法は今後も必要と思います。
100	急に国際会議で英語をしゃべれと言われても当然できないので、準備としてはよいと思うが、日本人参加者が圧倒的に多いので、質疑応答は日本語にしているシンポジウムが多かった。極論すれば研究室の中でも普段から英語を使っていた方が便利なわけで、研究における日本語の位置づけは難しい問題だと感じている

13) 学会会場の使い勝手(交通、案内、会議室間の移動、会議室の広さ・照明・音声など、食堂・トイレ設備、託児所など)についてご意見をお聞かせください。

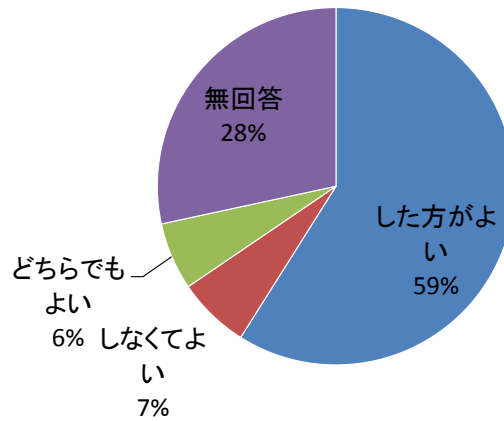
No.	具体的な希望・ご意見等
1	清潔で、よく整理されていた。
2	申し分ないと思います(他1件)
3	特に不便は感じなかった(他2件)
4	good
5	良い(他8件)
6	概ね良好であったと思う
7	ゴミ箱の設置数が少ないかも
8	適当であった
9	大都市でアクセスが良い
10	良かったが、参加者が多すぎた
11	託児所が小さすぎ。一日10人とは・・
12	託児所:もう少し締め切りを遅くしてほしい
13	託児所はもう少し預かれる人数を増やすべき
14	広い会場の屋外に掲示が少なかったため、初日は少し道を迷いました
15	案内表示が少なくわかりにくかった
16	大きい地図の位置がわからなくて、困った。
17	初日は、会場内で迷子になった。
18	A会場の床(前の方)は、近くを人が通ると振動がひどかった。B会場の照明は、スライドの種類に応じて調節してほしい。(カラーのムービーが見にくかった)
19	案内が悪い(A会場とかB会場とかだけでなく、せめてプログラムの内容も総合受付においた方がよい)・会議室間の移動が悪い
20	一階に受付があったが、ポर्टライナーの駅から連絡通路を歩いてくると二階についてしまい、受付の場所がわかりにくかった
21	今回は、会議室間の移動と会議室の広さが最悪だと思いました。
22	会議室のスクリーンが低く、小さすぎる。
23	天井の低い部屋は避ける、または座席の間隔を空けるなどして頂きたい。真ん中より後方の座席からスクリーンの下の部分が見えなかった
24	J会場がすごく小さかった
25	B会場が小さかった。
26	聴衆に比べて、会議室が狭く感じるセッションがいくつかありました
27	会場が全て狭い
28	狭い会議場があった(他2件)
29	シンポジウムにもかわらず、一部のシンポジウムは会場が狭く、聴衆が入りきれなかった。
30	シンポジウム会場がやや小さいのではないか
31	合同大会だったためか、少し狭く感じた
32	上階の会場が狭い。
33	ポスターを除いて、コンパクトにまとまっていて便利
34	5階の会議室への移動がしづらい
35	会議室間の移動良くない
36	会議室間の移動遠い(他1件)
37	講演会場とポスター展示会場が離れているのが不便でした。(他1件)
38	講演とポスター会場が離れている(他2件)
39	ポスター、商業展示会場が、メイン会場と離れているのは良くない。
40	ポスターと口演が少し遠い。特に雨の時は、トイレ少し少ない。

13) 学会会場の使い勝手(交通、案内、会議室間の移動、会議室の広さ・照明・音声など、食堂・トイレ設備、託児所など)についてご意見をお聞かせください。

No.	具体的な希望・ご意見等
41	ポスター会場とシンポジウム会場がもっと近かったら良かったと思いました
42	会場間の移動が大変。(他1件)
43	移動距離が長かった
44	展示場と離れている。(他1件)
45	ポスター会場が遠い。(他10件)
46	神戸の国際会議場は、口演会場とポスター会場が離れていて使いにくい。平面(同一フロア)で大きなスペースが確保できる会場にするべき
47	ポスター会場とシンポジウム会場が離れすぎ。多分、皆さんそう感じたとは思いますが。
48	会場が離れていて不便だった。(他1件)
49	今回は、やはり講演会場とポスター会場との行き来がやや遠かったです
50	ポスター会場がやや遠いが、それ以上に、各会場がわかりやすく良い。発表受付が、すごく良く管理されていると思いました。
51	ポスター会場が離れていて時間がかかるので勝手が悪かった
52	ポスター、シンポジウムの会場間の距離があり、高齢の参加者には辛いのでは・・
53	会議場と展示場が離れていたため移動に時間がかかった。休憩の場が少なかった。会議場は人があふれているところも多く、概して狭かったのではないのでしょうか。照明は暗くならずに見えにくい会場がありました
54	移動は不便 会場が狭い
55	会議場間の移動に時間がかかった
56	ポスター会場は、講演会所ともう少し近いと良かったです。
57	ポスター会場とシンポジウム会場が離れており、空き時間を上手に利用できない
58	あまり良くない、動線が複雑
59	会場間に少し距離があったため、もう少し近いといい
60	会場の使い勝手は良い
61	ポスターとシンポジウムの会場が遠い。ポートライナーの混雑は避けたい。上下の移動がわかりづらい建物でした。混んでいる時、エレベーターを避けると階段を見つめるのに苦労しました。
62	移動時間がきわめて少ない
63	ポスター会場がやや離れている。溢れかえって、聞けないシンポジウムもあった
64	会場が分散されてるのはよくない
65	参加人数に比べてトイレが小さい。ポスター会場までが遠い
66	シンポジウムの部屋割りに問題あり
67	会議室はよかったが、施設全体がやや老朽化していると感じた
68	無料のコーヒー・紅茶(ポスター会場)は、無くなったら補充して下さい。

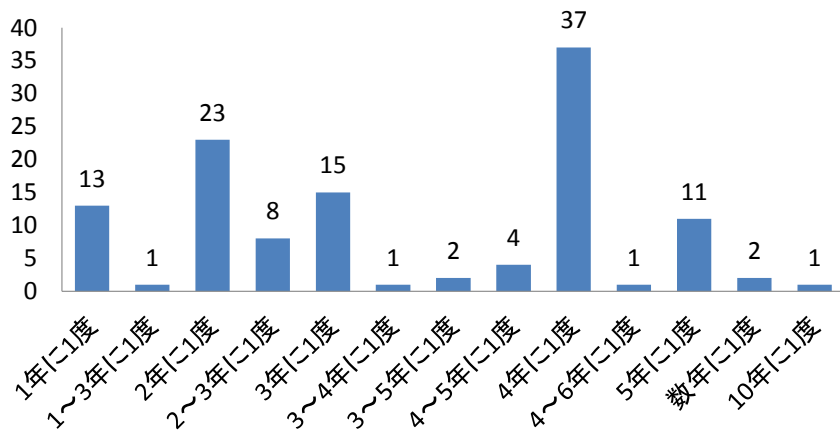
14) このような合同大会は再度開催する方がよいでしょうか？

した方がよい	135
しなくてよい	15
どちらでもよい	14
無回答	65
合計	229



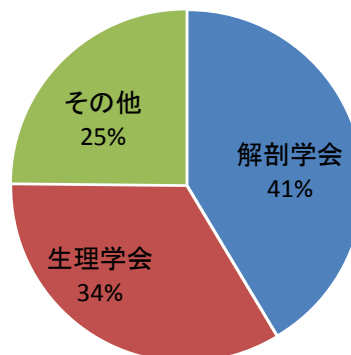
したほうがよい場合、何年に1度でしょうか。

毎年	1
1年に1度	13
1～3年に1度	1
2年に1度	23
2～3年に1度	8
3年に1度	15
3～4年に1度	1
3～5年に1度	2
4～5年に1度	4
4年に1度	37
4～6年に1度	1
5年に1度	11
数年に1度	2
10年に1度	1
合計	119



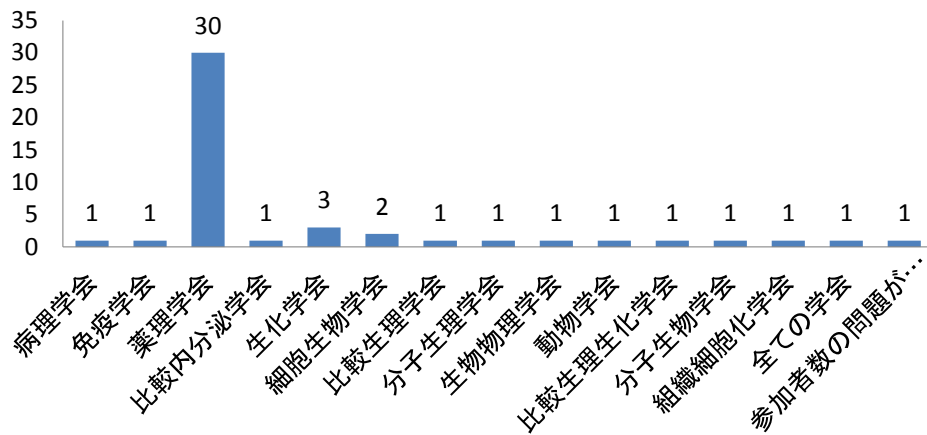
その相手はどこがよいでしょうか。

解剖学会	65
生理学会	53
その他	39
合計	157



それ以外の場合は何学会でしょうか。

顕微鏡学会	2
病理学会	1
免疫学会	1
薬理学会	30
比較内分泌学会	1
生化学会	3
細胞生物学会	2
比較生理学会	1
分子生理学会	1
生物物理学会	1
動物学会	1
比較生理生化学会	1
分子生物学会	1
組織細胞化学会	1
全ての学会	1
参加者数の問題がクリア出来るなら、どこでも	1
合計	49



15) 回大会の良い点悪い点を踏まえ、今後の大会運営についてご意見をお聞かせください。

No.	やや不満、不満を選択された場合のご意見等
1	市民広場で、矢印付看板を持った女子学生が立っていてくれて、とても判りやすかった。このように、参加者の立場に立った運営を心がけて下さい。
2	ランチョンが多く、またシンポジウムのバラエティが多く、素晴らしかった。
3	解剖も生理も全体数も減ってくると思われるので、今後は、解剖学会、生理学会と分けずに、「解剖生理学会」として開催していったらどうでしょうか。
4	日本で行なう学会は、日本語で良い。
5	ポスターとシンポジウムの距離が遠い
6	MD学生のシンポジウムを開く
7	1日目の10:00-12:00に、17:00-18:30のシンポジウムの一部をもって来て頂いた方が、聞ける機会が増えたのではないかと思います。
8	懇親会の開始時刻を早くする。
9	WiFi設定がうまく利用出来ました。
10	シンポジウムは多すぎる。専門化しすぎて合同大会の意義がなく、ランチョンは、せつかくの面白いものが重なってしまっていてまことに残念。ポインターが小さすぎる(見えない)
11	教育プログラムのように他分野にもわかりやすく、プラス最新の研究が含まれているプログラムが多くあると良い。今後そのようなプログラム井が多くあると臨床医に大変役立つと思います。
12	シンポジウムの分野分布に寄りが感じられた
13	会員の研究発表の機会をもっと充実させることが必要だと思う。シンポジウム中心も良いが、日本語で口頭発表にし、学生・院生でも発表しやすくする必要
14	非常に良い大会でした。経験をお引き継ぎいただき、より良い大会を計画されることをお祈りしております
15	シンポジウムとシンポジウムに空き時間(最低でも20分)を確保すべき。同一時間帯に12-16シンポジウムを進行させれば部屋数が必要ですが、時間に余裕が生まれます
16	ポスターセッションで学生部門がまとめられていたが、分野がまちまちでわかりにくさが危惧された。ただ以外に参加者が多く議論は活発に行われていた。新鮮な企画だったかもしれない
17	シンポジウムの数を少し絞るべきだと思います
18	予算削減の種々の努力は非常に有難いと思います。しかしプログラム集につきましては、筆頭発表者が知名度の乏しい若手の場合、所属講座の主任教授等の名前が参考になることがしばしばあることから、やはり発表者全員を掲載したほうが良いように思います
19	学部生ポスターは、観客が少なかったように思う。内容が関連する一般のポスター発表に混ぜたほうが観客も多く、ディスカッションも盛り上がり発表する学生にとっても学ぶことが多いのではないだろうか
20	楽しく実りある会を開催して下さった、組織委員会の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。海外の学会を少し見たことがあります。初心者向け学会の歩き方、今回の見どころ紹介、開催後のオンラインでのアンケート調査などの取り組みは、さらなる活性化に繋がるようにも思われます。
21	会場全体に活気があり良かった。大会運営の方々は大変お疲れ様でした
22	運営にあたったスタッフの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。
23	とにかく人が多く、学会に活気があったことは大変良かったことであり、めったに学会では一緒になることのない研究者と会える機会にもなり、大変有意義であったと思う。ただ合同懇親会などは人が多すぎて、若干混沌としており、例えば両学会の裏方として大変な時間と労力をとられた両教室のスタッフや、運営に携わった先生や関係者に対する労いや謝辞がなかったのはちょっと残念であった
24	極めて成功した大会であったと思います
25	大会場の都合が大きいと思いますが、各会場はもっと近い方が良いです。会場もまたいで聞きたい時、片方が犠牲になりがち
26	お世話になりました。ありがとうございました。
27	シンポジウムが全て採択されていた。男女共同参画や生理/解剖の協働という趣旨から離れているものもあった
28	各セッションでのディスカッションが低調。全体的にもっと活気があることを望んでいる
29	会場への移動があるため、進行が遅れたりはじめが聞けなかったものがあつたので、少し時間を考えて欲しい
30	今回の工夫を今後に伝え、運営に反映させるべき
31	お疲れ様でした
32	プログラムがタイトすぎる。発表目数が多すぎる
33	これだけ多数の演題をまとめるのは大変です。ありがたいです。意見をいうのは簡単です。小さな大会でも苦勞する(経験が)おそらく、将来的には日本の学会を支援(委託)会社が学会のスポンサー(負担少なく、少額×多数の学会の投資:年会費(会員数で決める))を育て、小さな学会にも委託できるようにし、本学会など大きな大会も企画・運営もリーズナブルにできると良い。国の補助も必要かもしれない。学会運営自体も高齢化で危惧する
34	聞きたいものがダブってしまう
35	大変素晴らしい大会だったと思います
36	開催される場所や地域に限られる
37	オーラルとポスター会場が離れていて、移動がめんどろであった
38	会長を引き受けた研究室の負担が大きくなりすぎるのではないか
39	会員の参加費は、非会員より安価にしてほしい
40	合同でやる意味があまりよく分からなかった。シンポジウムなどでどちらの学会員かわかるようにすれば、合同大会の意味があるかどうかもう少し分析可能になると
41	学術活動、若手育成重視の方針の継続をお願いいたします。
42	若手の育成、特に学部生・大学院生に力を注ぐべき。また一般市民へのアピールの企画も重要と思う
43	・質疑応答の時間が短すぎる。 ・懇親会の冒頭のあいさつは長すぎた。日本語がわからず立っていた外国人たちがかわいそうだった。 ・プログラムや抄録はオンラインで早めに公開し、冊子は現地で受け取るなどして運営費を節約するとよい
44	会場の使い方を考慮してください。動線が悪いと移動にばかり時間がかかって困ります
45	コンパクトサイズの抄録はよくまとまっており、見やすかった
46	毎年全分野のシンポジウムをする必要はない
47	解剖学会は教授のみの為の学会で、正会員の事を考えていない
48	解剖、生理合同学会はよいが、企画運営する方は大変だと思う
49	合同開催ということで規模も大きくなり、また両学会間での調整など運営に携わった先生方は大変であったと想像します。御陰様で有意義な会になったと思いますので、今後もぜひ合同開催を継続して頂きたい存じます
50	運営事務局の方々お疲れ様でした